

しんあい

季刊

2025年（令和7年）12月20日発行 第136号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-367-8801

<https://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！



第1回秋祭りは、賑やかであたたかな交流のひとつとなりました。（緑苑）

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター泉苑

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター白糸台

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多摩

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・併設 定期巡回随時対応型訪問介護事業所
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ相談センター

児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたちち

◆ 社会福祉法人を考える25

◆ しんあい作品展

◆ 介護職員初任者研修を開講しました

◆ 施設だより 「今も昔もこれからも」 ～年輪を重ねて～



社会福祉法人を考える 25

～ 働き続けるために ②出産・育児、子育て支援の取り組み ～



理事長 鈴木恂子

1993年(平成5年)府中市立あさひ苑の開始にあたり、既卒者、新卒者男女併せて100人を超す職員を選抜採用しました。新卒の女子職員も多く、当時は産前産後6週間程度の休業のみでしたので出産期に退職する職員もあり、本人も職場もとても残念な思いをしました。その後、育児休業等の社会保障制度も充実し、現在では出産、育児を理由に退職する職員はいなくなりました。

個人の休暇取得のためには職場の理解が不可欠です。共に働く職場の理解、協力にも感謝しています。

2022年度	育児休業取得者	9人（うち男性3人）	・育児短時間勤務	18人（全員女性）
2023年度	育児休業取得者	10人（うち男性4人）	・育児短時間勤務	12人（全員女性）
2024年度	育児休業取得者	15人（うち男性5人）	・育児短時間勤務	13人（全員女性）

◆多摩同胞会の子育て支援

		法 令	法人独自の規定
休業・休暇	産 前 休 業	産前42日（多胎妊娠の場合は98日）から産後56日目までの間で妊娠又は出産に関する事由を理由として労務に従事しなかった期間	産前休業は法令の42日に14日プラスして56日とし、加算した14日分は産前給を支給する 希望する職員は、プラスした14日を年次有給休暇で休むことも可能
	産 後 休 業		
	育 児 休 業	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律による満3歳未満の子を養育するための育児休業等の期間	法 令 と 同 じ
	特 別 休 暇		配偶者の出産（育児）休暇3日付与
復職後の支援	育児短時間勤務	満3歳未満の子を養育する労働者の申し出による	2005年には育児時短勤務を小学校就学までとしていたさらに2018年の規程改正で小学校就学以降も施設長が認めれば可とした
	所定外労働の制限（残業の免除）	2025年4月1日改正により3歳までだった所定外労働の制限措置が小学校就学までに拡大された	2005年には、所定外労働及び深夜業の制限は小学校就学までとしていた
	始業時刻変更等の措置	2025年10月1日改正の「柔軟な働き方を実現するための措置」選択肢のひとつとして規定された	当法人の就業規則では常勤職員の勤務時間は、午前6時30分から30分きざみで始業時刻を規定している A 勤 6：30 から Y 勤 18：00 までの間に始業時刻は24パターンがある 例) D 勤 8：00～17：00 E 勤 8：30～17：30 F 勤 9：00～18：00
	日曜・祝日保育		日曜、祝日勤務のため子の保育が必要となる法人職員のために、しらとり「ホリデールーム」を実施（かんだ連雀、すずめルームは休止中） 対 象：満1歳～未就学の児童 利用料：1時間300円（職員互助会から600円補助あり）
	子の看護等休暇	9歳に達する日以後の最初の3月31にまでの間にある子を養育する労働者が取得できる	取得要件は法令と同じであるが、常勤職員は有給休暇としている

くるみん取得まで～ハードルになった男性の育児休業取得～

次世代育成支援対策推進法により法人では2005年4月1日に初めて一般事業主行動計画を策定しました。以降、ここまで7回に渡り計画策定してきましたが、2021年10月に初めて基準適合一般事業主認定（くるみん認定）を申請し、2022年8月29日に東京労働局長から「基準適合一般事業主認定通知書」を受け取りました。認定の決め手は男性職員の育児休業取得割合が30%を超えたことでした。申請は計画に基づく外部公表、職員周知、所定外労働削減や年次有給休暇取得促進の取組状況等の報告ですので、十分に達成していたのですが、なかなか認定申請ができなかった理由は男性職員が育児休暇を取得する職場風土が追いついていなかったからといえます。法人では、以前から法を上回る子育て支援を実施していましたし、人事制度も男女で差異はまったくなく「くるみん」はすぐに認定されると考えていましたが2007年から始まったくるみん制度で認定を受けるまでに15年という長い年月がかかりました。今では男性の育児休業は当然のこととしてほとんどの男性職員が取得しています。

2005年から20年が経ち、労働環境は大きく変化し働き方は多様化しています。職員の意識やライフイベントに合わせた働き方を可能とする柔軟な雇用管理を行うことが求められています。職員の働く環境をととのえて、質の高い社会福祉サービスを地域に提供していくのが社会福祉法人の役割であることに変わりはありません。（上野・記）

参考(子育てに関連する法人事業)	
◆府中市子ども家庭支援センターたちでの子育て支援	
○総合相談	子育て中の方、お子さん自身からの様々な相談に応じます。相談内容によって問題の解決に必要な相談機関や制度の案内を行うほか、関係機関との支援体制の調整役として、みなさんが不安なく子育てができる環境づくりのお手伝いをします。
○リフレッシュ保育	育児をしている方のリフレッシュなどを目的にお子さんの一時預かりを（4時間）行います。 対象：市民、又は市外の方で市内に2親等内の親族がいる方のお子さんで、リフレッシュ保育の利用登録をした1歳～就学前の児童
○交流ひろば	0歳～就学前の児童と保護者のふれあいの場。子育て中の保護者の方、お子さん同士の交流の場です。 開所日：10時～17時（休館日：年末年始と月1日程度）
○ファミリーサポート	仕事や家庭の都合で育児の手助けをしてほしい方(依頼会員)と子育てに意欲と理解があり育児の手助けをしたい方(提供会員)がお互いに助け合い育児のサポートを行う会員の相互援助活動です。
◆子ども家庭支援センターしらとりでの子育て支援	
○子育てひろば事業	子育て家庭を支援するために乳幼児の親子が遊べる常設のひろば事業を行っています。 対象：乳幼児を連れた親子 開所：月～土曜日の10時～16時
○トワイライトステイ	残業などで保護者の帰宅が遅い家庭のお子さんを夕方から保育園や学童クラブに迎えに行きお預かりし学習や食事などの援助をします。 対象：府中市在住の2歳児～小学6年生以下の児童 時間：17時～22時
○子どもショートステイ	病気・出張・出産などの理由で家庭での子どもの養育が困難な時にお子さんを短期間お預かりし、食事・通園・通学などの援助をします。 対象：府中市在住の2歳児～18歳未満の児童 期間：7日以内
○母子(父子)緊急一時保護事業	家庭内のトラブルなどで親子を緊急に保護する必要がある時、一時的に滞在できるよう生活の必需品を整えた部屋を提供し必要な支援をします。 対象：府中市在住で18歳未満の児童を養育する母子又は父子 期間：15日以内

★子育て支援の制度を利用した職員のコメント

私は2回産前産後休暇及び育児休業を取得し、現在も時短勤務をしています。育休からの復帰後、子どもの急な熱発時等、業務のフォローしていただき、快く送り出してもらいました。様々な制度が有難いのはもちろんのこと、周りに子育て中の職員も多くそれらを受け止めてくださる土壤があり、おかげで娘たちも健やかに成長しています。（しらとり相談員 田宮純乃）

一番下の子が小学校に入り今年度より時短勤務から通常勤務へ戻りました。職場復帰して間もない頃は仕事と子育ての両立に苦労しましたが職場の皆さんの理解と協力のもと育児休業から時短勤務を得て、子供と向き合う時間が増えた事で仕事から家庭へ気持ちを切り替え心にゆとりを持つことができました。（岩本町ほほえみプラザ介護職員 木田幸江）

私は2024年に第1子が生まれるにあたり、育児休業を4カ月取得しました。男性で4カ月という長期の取得は法人で初めてという事で不安はありましたが、快く承諾していただきました。休暇中に引っ越しをして生活環境を整えることもでき、休業後の復帰もスムーズにできました。育児休業を取得して良かったと思っています。（泉苑食事係 岡田太一）



(資料提供・編集：法人事務局 上野廣美)

【あさひ苑】



お飾り
紅葉に染まったお飾りを作
りました。秋を感じます。
(デイサービス)

秋の彩り
秋にちなんだものを作りま
した。柿、きのこ、とん
ぼ うまくできました！
(デイサービス)



秋の実り
おいしい秋の産物を作成
しました。(デイサービス)

【岩本町
ほほえみプラザ】

ノウハウは知らず見よう
見まねで作りました。
(ケアハウスご利用者 T.S 様)



好きな色の毛糸を選んで
作りました。とてもかわ
いくできたので、身に着
けてどこかに出かけたい
です。
(グループホームご利用者 N様)



ほほえみクラブでは季節
の作品として毎月テーマ
ごとに貼り絵や折り紙で
壁飾りを作っています。
(デイサービスご利用者)

【かんだ連雀】

書道用の半紙ではなく色紙に
書いてみました。と M・T 様
【福】の印がポイントですよ。
と、恥ずかしそうに話してく
れました。



沢山の塗り絵
作品は Y 様と K
様の制作です。
塗り絵をして
いる時は一生
懸命に集中し
てます。



カラフル
で作品つ
由に部屋
けて楽し
す。
「簡単
に」。

な折り紙
くり、自
を飾りつ
んでいま
作れるの
(M・T 様)



【緑 苑】

毎日コツコツ編んで
作り上げた、温かみ
あふれる作品です。
(特養ご利用者 A 様)



「メンソーレ沖縄」沖縄に
いった気分を味わってもら
いたくて、シーサーを段
ボールで作りました。なか
なかの迫力です！
(職員一同)



手芸クラブの皆さん
で話し合い、ハロウィ
ンをテーマにして作
成したカボチャです。



【しらとり】



ハロウィン製作
手形と足形でいろんな
オバケが完成しました。
(しらとり保育)

お月見
十五夜に合わせてお餅
をつく、からくりウサ
ギを作りました。
(しらとり学童)



ハロウィンバッグ
ハロウィンの紙
袋をアレンジして
ハロウィンバッグ
を作りました。
(しらとり学童)

【泉 苑】



竹の水墨画を皆様思
い思いに描かれました。
(特養ご利用者 K 様)



四季折々の飾りを手作り
しフロアに飾っています。
ハロウィンには実際に皆
様で帽子をかぶり、お面
をつけ、事務所で「Trick
or Treat !」！
お菓子をゲットしました！
(特養3階ご利用者)

布を葉っぱの形に切
り、皆様で紅葉の大
樹を作られました。
(デイサービス
ご利用者一同)



【たっち】

ハロウィン製作でかぼちゃ
のバッグを作りました。
(交流ひろばご利用のご家族)



クレープ製作
(リフレッシュ保育ご利用者)

【きずな】

クリスマスリース作り
ロボットリース、立体に
ロボットを作ることを頑
張りました！
(製作大好きマン)



クリスマスリース作り
推しカラーリース、母子
の好みの色を混ぜて巻き
ました！ (アラシック)



プラバン
手形ゾウさん、青と黄
色を混ぜて色塗り頑張
りました！
(小さいおてて)

施設 だより



今も昔もこれからも 年輪をかさねて

きずな
たくさんの絆を
ふりかえる

私がこの仕事に就き、早くも35年の年月が過ぎました。地域とは、納涼祭などの行事を合同で開催し、ボランティアの方々にも助けてもらいました。1991(平成3)年ごろから職員各自がノートパソコンを用意し、文字入力などを教わりいち早く業務に活かすことができました。

今年、実践報告会で紹介した畑作業の始まりも、ボランティアの方が一から教えて下さったおかげです。当時は、枝豆を作りそこから味噌も手作りしたことは、利用者にとっても楽しい思い出です。先日、当時中学生だった女の子から連絡があり、嫁ぐ前に親子と一緒に会い思い出話に花を咲かせました。大勢のお母さんや子どもたちとの出会いの積み重ねは、私自身の宝物です。



母子支援員(保育士) 岩田昭子

しらとり
「ただいま」と
言ってもらえる
場所に



しらとり学童では10月12日(日)に、退所児の集いを実施しました。2020年度以降に退所した、現在小学生以上の年齢になったお子さんを招待し、当日は10名ほどの小学生が集まってくれました。5年前に退所し、久しぶりに来所した2組のごきょうだい。入所中は幼児だった子どもたちが、小学3、5年生になっていて、当時を知る職員はその成長ぶりにびっくり。月日の流れの速さを実感しました。最初のうちはそれぞれがちょっぴり恥ずかしそうに、様子をうかがっている感じもありましたが、レクリエーション、おやつ作りなどを通して次第に打ち解け、思い出話などとても盛り上がりました。

一時期をしらとりで過ごした子どもたちにとって、しらとりが、退所してから何年経ってもふらっと立ち寄れる場所でありたいと、職員一同願っています。

少年指導員(社会福祉士・保育士) 宮城朝日

たち
変化の中で、
必要な支援を
考える



たちは2005(平成17)年3月に開設されました。たちの入館にはパスが必要ですが、当時はパスを発行する作業がたち内ですべて完結しておらず、「ひろまるくん」(たちの事業を管理するシステム)を作っている会社の協力を得て、カードバーコードを別の場所で作成し、それを職員が受け取りに行き、カードに張り付け利用者の方に発行していたそうです。

今こそ、ひろば、リフレッシュ保育、相談、ファミリーサポート・センター事業やころりんクラブ、そらまめクラブ、きょうだい育て等の交流・講座事業が子育て世帯に向けて実施されていますが、たちが開設されるほんの20年前はなかったというのが驚きです。子育て支援にかかわる私たちは、常に社会の変化に合わせてより良い支援を考えていく必要があると感じる今日この頃です。

相談員(臨床心理士) 山城克之

◆介護職員初任者研修を今年も開催しました。◆

特定非営利活動法人ごとの会(国分寺市)が主催する介護職員初任者研修を当法人が講師と会場提供により協賛して開催しています。今年度は4回目となります。コロナ禍の初年度(2022年度)の受講者は3名、2023年度は受講申し込みがなく、2024年度は10名、今年度は8名の受講となりました。

研修の内容は介護保険の基本的な考え方から終末期の介護、演習では食事、排泄、入浴など介護にあたり必ず必要な実技まで幅広く学ぶことができます。講義は介護



講師を担当した職員と受講生の声をおききください。

「入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護」の講義を担当しました。

講義以外に実際の浴室に行き説明を行いました。また、実際にチェア浴の椅子に座り浴槽に入る事で利用者がどのように入浴しているのか体験してもらいました。介護現場の浴室を初めて見る方が多く、テキストのみではわかりにくいことも実際に見る事で理解しやすくなったのではないかと思います。

勉強熱心な方が多かった印象です。

緑苑介護員(介護福祉士) 開田圭一

「食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護」を緑苑管理栄養士の親泊と担当しました。

まずは、食事・嚥下・自助具の活用や口腔ケアについて講義しました。午後は様々な食事形態を試食しました。とろみの水分を作ってみたりやペアになり介助体験を通して食事介助のポイントを学びました。普段何気なく摂る食事の大切さを感じていただけたなら嬉しく思います。介護は単なる介助ではなく、ご利用者の力を活かし生活に活力をもたらすことが大切です。

緑苑生活相談員(介護福祉士・社会福祉士) 米川香奈

この度、初任者研修を受講させていただくという貴重な機会をいただきました。

知識も足りない上に、実技は見るのとやるのでは雲泥の差があり、途方に暮れるばかりですが、一緒に受講している方々と声掛けしながらの楽しい時間でした。(泉苑非常勤職員) 坂口倫子

受講者のコメント

正しい知識と深い理解で支える姿勢の大切さを学びました。介護では個々人に寄り添ったケアが求められますが、そのためには本人だけでなく家族を含めた支援が欠かせません。地域で支える重要性を実感するとともに、支援機関や制度の認知度向上が課題だと感じました。学びを活かし、今後もより良い介護の実践に努めたいと思います。

(あさひ苑介護職員) 小勝美保



2025年度通学研修日程 研修期間:2025年10月4日(土)～2025年11月22日(土) 会場:府中市緑町「緑苑」

研修日	科目	研修日	科目
10/4(土)	開講式	10/25(土)	(17) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	(1) 多様なサービスの理解	10/26(日)	(18) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	施設現場の理解(見学)		(19) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
10/5(日)	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	11/1(土)	(20) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	(3) 自立に向けた介護	11/3(月・祝)	介護実習
	(4) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		ホームヘルプサービス 同行訪問
10/11(土)	(5) 介護職の職業倫理	11/8(土)	(21) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	(6) 介護保険制度		(22) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと 終末期介護
	(7) 介護におけるコミュニケーション		(23) 介護過程の基礎的理解
10/12(日)	(8) 認知症を取り巻く状況	11/9(日)	(24) 総合生活支援技術演習
	(9) 家族の心理、かわり 支援の理解	11/15(土)	(25) 振り返り
	(10) 介護に関するところの しくみの基礎的理解	11/16(日)	(26) 就業への備えと研修 修了後における継続的な研修
10/18(土)	(11) 生活と家事		筆記試験
	(12) 高齢者と健康	11/22(土)	(27) 特別講義～独自カリキュラム
	(13) 障害の基礎的理解		修了式
10/19(日)	(14) 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理		
	(15) 認知症に伴うところと からだの変化と日常生活		
	(16) 移動・移乗に関連した ところとからだのしくみと自立に向けた介護		
	実習オリエンテーション		

かかやき

地に足をつけて
人进行う

神田三崎町の民生・児童委員、安原勝子様が、今年11月末をもってその受託を終了されます。7年ぶりのかがやきプラザ着任の挨拶も兼ねて、ご自宅に伺い、旧交を温めてきました。

10年近く昔に、一緒にかかわりを持った方々のことを、あたかも昨日のことのように話し、今でもその心情に寄り添う姿や、まだまだ把握しきれない、地域の中で困っている人々へ心を寄せる姿に、胸が熱くなりました。

「結局、人が好きなんですよね。自分が寂しがりやで、おせっかいなんです。」そう笑いながら、気負いもなく、困難を抱える方々のところへ駆けつけて、必要な機関とつながり、道なき道を進み続けてきた20年間の軌跡に、敬意と感謝を感じます。

そして、インターネットの普及とともに、人のつながりが希薄になり、生きにくさを抱える人々が増え続けているこの時代だからこそ、地に足をつけて「人进行う」心の大切さをあらためて教わりました。

おつかれさまでした。そして、ありがとうございます。

業務責任者
(社会福祉士)

金井英明



連雀

老舗の
焼き鳥屋さん

神田地区で焼き鳥屋の女将さんをしているSさま、あんしんセンター神田で定期的に見守り訪問をさせていただいています。昭和9年から90年以上も同じ場所が続いている地域で長く愛される、まさに老舗です。

お店をはじめた頃は仕込み作業が大変だったとのことですが「今はもう慣れたもの、お肉を切った時に、どの程度の重さになるか感覚でわかるわよ。」長く続けていける

秘訣について伺うと「私はそんなにお世辞を言うのは好きじゃないのよ。お酒も入るから多少はね。でもお店ではゆっくりしていく方が多いんじゃない?」「あとお酒はお客さんからもらうことはほとんどしないわ。ある人かもらって他の人からはもらわないとかはできないじゃない?」

話を伺いながら、女将さんの醸し出す自然な雰囲気がお客さまにとって居心地の良い場所なのだあと感じました。神田に根づく焼き鳥屋の女将さんの姿から、自然とお客様に寄り添う姿勢を学ばせていただきました。



高齢者あんしんセンター神田相談員

(介護支援専門員) 小川健太郎

緑苑

緑町に引っ越して
きて31年

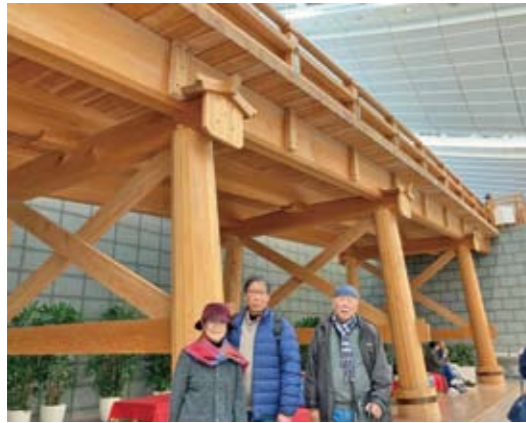
養護老人ホーム信愛寮は1994(平成6)年都道の拡幅により武蔵台から緑町に移転しました。その当時から担当している職員に話を聞きました。

ご利用者の皆様は様々な行事・イベントや、人ままとめる事に長けている方や、面倒見の良い方、お花の世話が上手な方と個性豊かです。

今でも行われている地域の清掃活動や小学校の登校時の見守りなど、地域とのつながりも大きく、入所されている方々は地域とのつながりも大切にしながら生活をされています。

31年という年月は経ちましたが、時代に応じて変えていく必要がある事、変わらぬ大切にしていくな事を考えながらこれからも、ご利用者の皆様とともにありたいと思います。

信愛寮係長(介護福祉士) 眞々田香奈江



※写真は、羽田空港へバスハイクで行った時のものです。

泉苑

築50年の
あたたかさ

泉苑は築50年のとても古い建物です。来たばかりの頃はよく迷子になりました。施設内には、ご利用者がお住まいになる特別養護老人ホームとショートステイサービスが併設されています。ご自宅でごしている時も、ご自宅を離れてからも過ごして頂ける場所です。ショートステイやデイサービスからご利用を始めて職員やご利用者と顔見知りになった後でホームに入所される方も多くいらっしゃいます。今日は以前はショートステイをご利用されていたホームのご利用者がショートステイのエリアに来て職員と一緒にハロウィンの切り絵を作っていました。ご利用者は手先がとても器用で、「すごいですね」とお伝えすると満面の笑みです。

ご利用者も職員も一緒に歳を重ねていきます。先輩職員から若いころのご利用者のご様子や得意なことを教えて頂いて、そこから会話がはずむこともあります。昭和・平成・令和と長く生きてこられたご利用者のやさしい笑顔やひとことに元気をもらっています。

ホーム看護主任(看護師) 小林いづみ



岩本町

食事作りで
五感を刺激

岩本町ほほえみプラザのグループホームでは、水曜と土曜に昼食やおやつ作りを行っています。ご利用者の皆さまはともにお元気で、包丁さばきも見事。鍋で湯がいたり、天ぷらを揚げたりと、職員が教えてもらいたいほどの手際の良さです。

少しずつADLが低下し、作業が難しくなってきた方もいらっしゃいますが、漬す・混ぜる・盛り付けるなど、内容を工夫しながら、毎回楽しく取り組まれています。「あら、美味しそう」「こっちの方が多ない?」「といった賑やかな会話と食欲は、今も変わらず健在です。

長年台所に立ち続けてきた経験が今もこうして活かされていることに、私たちは深い敬意と感謝を感じています。

食事係(栄養士) 高橋香織



あさひ苑

超高齢万歳!

あさひ苑には大正9年生まれ105歳のご入居者様が住まわれています。

「超」超高齢ですが、短い距離はご自分の手足を使って車椅子を漕ぎ、大切にしている宝物ぬいぐるみと本を常に近くに置いて過ごされていらっしゃる。

食事でも自分で頑張って召し上がりますが、疲れてしまつと、他の方が介助を受けているのを見ると、時々、支援を申し出されます。

そんな様

ですが、「おはよう」「ねえちよっと」等と、

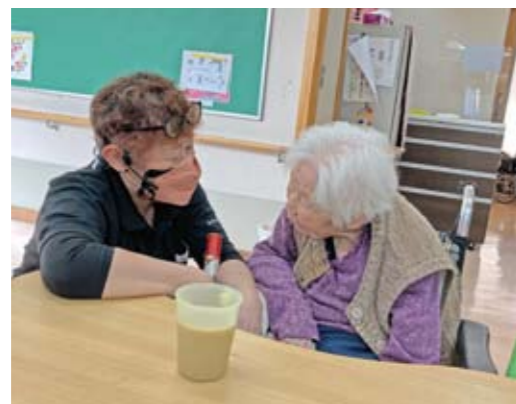
通りかかった職員全員にお声をかけてくれます。私たち職員はどんなに忙しくても足を止めてお話を聞きます。

こんな風に

沢山のひとにかかわりながらたくましく生きることが「長寿の秘訣」と感じます。こんな風に年を重ねられたら幸せです。

多摩同胞会も80年―丁様に追いつけるように私たちも日々努力です!

ホーム主任(介護福祉士) 伊藤賢司



ニュース ミニミニ I

秋もにぎやかに

緑苑



例年は「夏祭り」でしたが、夏の猛暑を回避して、11月2日(日)、緑苑にて初めての「秋祭り」を開催しました。

当日は秋晴れの天候にも恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。地域の皆様、ボランティアの方々、ご利用者ご家族のご協力のもと、季節に合わせた内容の模擬店出店や、南っ鼓さんによる迫力のある太鼓演奏、そしてお楽しみみの福引きなどで、会場は活気に溢れていました。

ご利用者の皆様も、綿あめや今川焼などを美味しそうに召し上がっていたり、輪投げや的あてゲームに参加されたりとお祭りの雰囲気を楽しまれました。

秋祭りは多くの笑顔に包まれ、盛会のうち無事終了いたしました。

(緑苑 小俣美保)

ニュース ミニミニ II

法人創設80年記念

実践報告会

府中地区実践報告会 ▶



◀ 神田地区実践報告会

135号でお伝えしました「きずな実践報告会」に続いて、11月14日(金)には岩本町ほほえみプラザ区民ホールで神田地区実践報告会を、そして11月21日(金)には緑苑で府中地区実践報告会を開催することができました。

法人各施設で行っている事業をご理解いただけるよう担当職員はリハールを重ねて準備してきました。

ご多用の中関係各機関の皆様にご出席いただきありがとうございます。当日の詳細は次号にてご報告いたします。

ボランティアの御協力ありがとうございます

(敬称を省略させていただきます)

赤井あけみ 阿部アヤ子 有本陽子 池水純子 板垣理恵 市川榮子
江川昭子 岡田みい子 おはなし夢くらぶ 梶田佳子 鮎野美千代 川
上文子 河津淳子 黄美華 小林わか子 小柳亜樹子 近藤藤子 鈴木
奈緒美 相馬礼子 高橋ヤヨイ 瀧山紀子 友寄英里子 中田由香里
中村千代子 長谷川和子 古川みづ子 マーメイド 宮沢好子 三輪
孝子 村井福子 弓座恵 渡邊真理子 白濱朝子 すみれ会 親泊結希
奈 眞々田咲陽 原島虎太郎 原島誉音 久米あゆみ 久米優平 師岡
みゆき 南っ鼓 緑町自治会 吉村雄志 渡部美智子 岡田愛子 河内
ともみ 高澤久美子 滝沢冷子 栃谷さき 柳谷夏見 脇山令子 星原
通子 塩澤佳津子 鈴木好子 菊池和彦 山田洋子 きずなの手江戸川
谷口知加 伊藤淳子 美化tube 胡蝶蓮 (2025年9月~2025年11月)

御寄贈・御寄付ありがとうございます

(掲載を可とされた方のお名前です。)

(敬称を省略させていただきます)

一般社団法人 mirai 株式会社ユメックス
株式会社アビック 高砂会 勅使河原みどり
日本紙パルプ商事(株) ヒとひらの会 三菱広報
委員会 有鄰堂歯科医院佐藤保信 沢登美智
子 細谷紀江 (株)第二さいとうガーデン 第一三共(株) JAマインズ (株)朝日学生新聞社
ソロプチミストあきる野 小林喜代子 ロクシ
タンジャポン(株) 伊豆井 (株)ソーシャルキャピ
タル・プロダクション 公益財団法人日本サッカ
ー協会 (2025年9月~2025年11月)

介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

● 泉苑 老後支援 24時間

☎ 0120-6540-24

● あさひ苑 福祉にっこり 24時間

☎ 0120-2942-24



法人ウェブサイトはこちら



採用情報サイトはこちら



Instagram 更新中



X(旧Twitter)緊急時はこちら

編集後記

今年の冬の過ごし方

今年は公園で体を動かし、今年の冬は、イベントに寒い冬を乗り切りたいと思いついて、出掛けて推し活にしようと思いつきました。(泉苑 菊嶋希乃)

毛布とカフェオレでぬくぬく過ごしつつ、体調管理を心掛けます。(緑苑 小俣美保)

冬太りしないように適度のウォーキングをしようと思いつきました。(あさひ苑 千代田俊治)

今年は、寒い温泉地に行き、心身共に、温まりたいです。(かがやきプラザ 曲瀬朋未)

暖かいこたつに入りながら海外ドラマをたくさん観たいです。(かんだ連雀 保坂美加)

ケーキを作って暖かい飲み物と一緒に楽しみたいです。(岩本町ほほえみプラザ 玉城多美子)

玉城多美子

(編集長 上野廣美)